

漁況情報 No. 2

平成24年7月19日発行

岩手県水産技術センター漁業資源部 URL: <http://www.pref.iwate.jp/~hp5507/>

Tel:0193-26-7915 / Fax:0193-26-7920 / E-mail:CE0012@pref.iwate.jp

《7月上旬のトピックス》

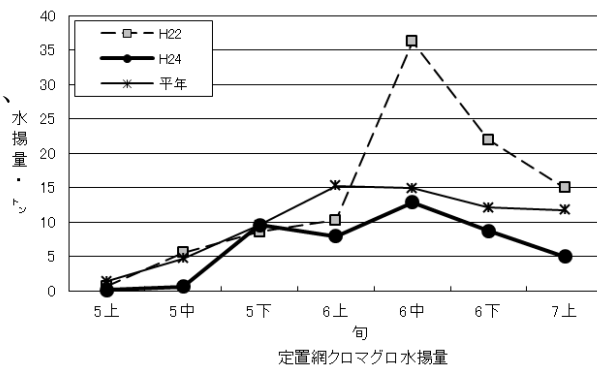
- ・ 定置網のサバ類の水揚げが本格化してきました。
- ・ いか釣漁が始まりました。

1. 水揚状況（県内主要5港集計値）

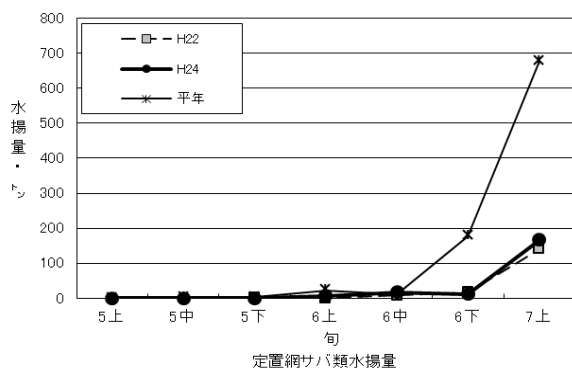
7月上旬までの県内主要5港（久慈、宮古、山田、釜石、大船渡）における水揚げ状況を取りまとめましたのでお知らせします。

大槌に関しては、水揚情報が入手できていないため集計から除外しています。

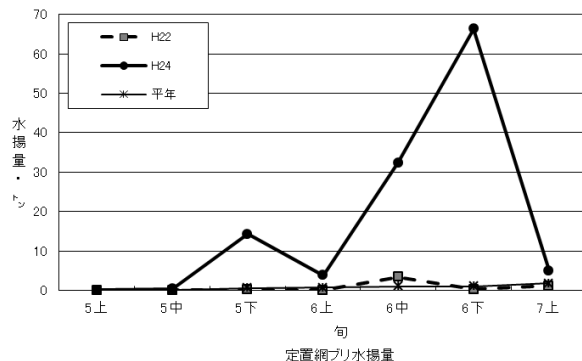
(1)クロマグロ(定置網)は、5月下旬から大船渡を中心に水揚げがあり、旬水揚げはH22年比40%、過去5年(平成18~22年)平均比30%の5トンでした。
7月上旬までの累計は45トン(H22年同期の50%)でした。



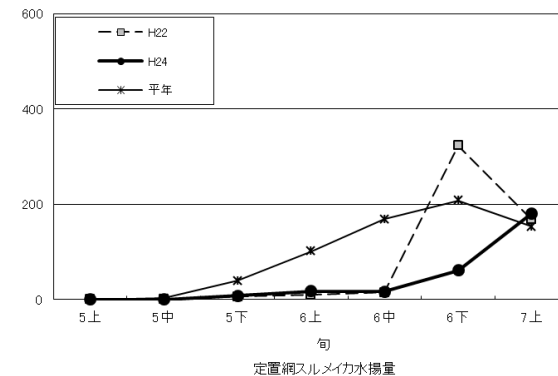
(2)サバ類(定置網)は、大船渡を中心に水揚げがあり、7月上旬にはやや増加傾向にあります。旬水揚げはH22年比1.2倍、過去5年平均比10%の167トンでした。
7月上旬までの累計は203トン(H22年同期の1.3倍)でした。



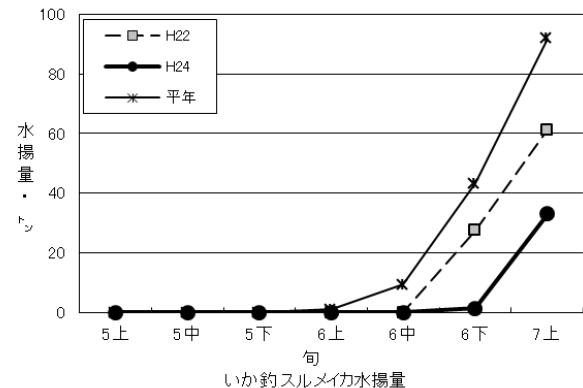
(3)ブリ(定置網)は、宮古を中心にぶり、わらさを主体として水揚げがあり、旬水揚げはH22年比4.6倍、過去5年平均比2.1倍の5トンでした。
7月上旬までの累計は122トン(H22年同期の26倍)でした。



(4)スルメイカ(定置網)は、5月下旬から大船渡を中心に水揚げがあり、6月下旬以降やや増加傾向にあります。旬水揚げはH22年比1.1倍、過去5年平均並みの181トンでした。
7月上旬までの累計は285トン(H22年同期の40%)でした。



(5)スルメイカ(いか釣)は、6月下旬以降から久慈を中心に水揚げがあり、7月上旬に入り水揚げ量は増加したものの低調で推移しています。旬水揚げはH22年比50%、過去5年平均比40%の34トンでした。
7月上旬までの累計は34トン(H22年同期の40%)でした。



2. 調査結果、その他の情報

◎スルメイカ市場調査結果

7月2日~10日の釜石魚市場におけるスルメイカの外套長組成を示します。(図1)

水揚げ物は、14~15cm台、19~20cm台が主体となっていました。

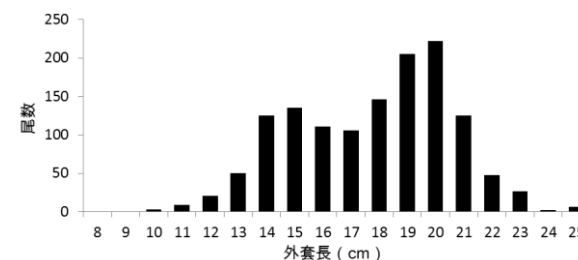


図1 釜石魚市場のスルメイカ外套長組成

◎サバ精密測定結果

7月11日の釜石魚市場におけるサバ類の体長組成を示します。(図2)

水揚げ物は32cm台、34~36cm台が主体となっており、マサバ・ゴマサバ混入比は、マサバ12%、ゴマサバ88%で、ゴマサバが主体となっていました。

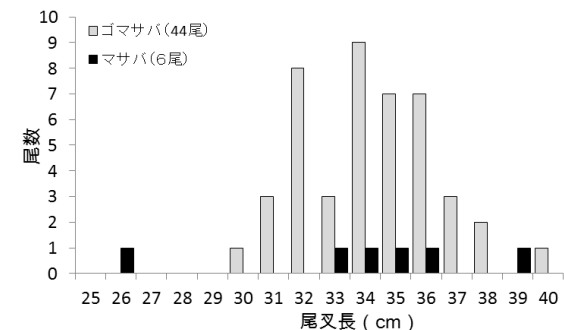


図2 釜石魚市場のサバ類体長組成

ご意見などは水産技術センター漁業資源部（担当：後藤、永井）までお寄せください。